

コンサル重視の アシュアランス内部監査の組み立て方

—改善提案型内部監査の報告書と作業のデザイン—

第一期「経営監査塾」〔第3回開催分（全8回開催）〕

- 日 時 ● 2015年11月17日（火）14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

大手監査法人における約20年の会計監査への従事と10数年にわたる内部監査（実施支援、コンサル、品質評価等）、内部統制、不正調査、リスク管理等のアドバイザー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任。現在、ABボルボのコーポレートオーディット日本担当ダイレクターおよびUDトラックス株式会社監査役として監査実務に従事。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかり易い語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法 20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

●講演／コンサル重視のアシュアランス内部監査の組み立て方 <14:00—16:00>

内部監査の機能あるいは付加価値の方向としてアシュアランスとコンサルティングという2つの方向がIIA基準でも示されています。ステークホルダーの期待にかなう内部監査を実現するためには、その受け皿となる内部監査業務をその目的に合わせてデザインすることが重要です。そのためには、これらの2つの方向性を経営層の意向に整合する形で内部監査の報告書の内容や監査作業の進め方さらには監査人の人材育成や研修などの実務に広く落とし込んでいくことが必要となります。現代の企業ニーズに合ったコンサルとアシュアランスの実務への落とし込みを改善提案重視の典型的な内部監査モデルを例にとりて解説し、それに付随する実務上の課題としてサンプル・テストのあり方など望ましい往査作業の内容・進め方や監査報告との関連付けなどを検討します。

1. コンサルとアシュアランスの監査の実務への落とし込み方
2. 現代の企業ニーズに合わせたコンサル型アシュアランス監査のデザイン
 - ・監査報告書の様式・内容の留意点と参考例
 - ・付加価値の高い監査報告にベクトルを合わせた監査作業の見直し

- 講演をベースとした（グループ）ディスカッション&総括コメント <16:00—17:00>
～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社） 企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516 / FAX 03-5215-0951～2

150188	2015 11/17 経営監査塾		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			